

福井市学校教育目標

郷土福井に誇りをもち、たくましく生きる子どもの育成
学校教育方針 学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

本校児童の強み

- ・今の自分の能力に応じて、学習の場や方法、練習内容を選ぶことのできる子どもが多くなってきた。
- ・体験活動を多く設定することで、実感をもって理解したことを生活に生かそうとする姿が見られるようになった

本校児童の弱み

- ・失敗してはいけない、失敗するのがこわいという思いから、主体的に動くことに消極的になりがちである。
- ・自ら困っていることを伝えられない子どもがいる。

令和8年度 福井市宝永小学校 スクールプラン



校訓 原 泉 「原泉混々として昼夜をおかず」という孟子の言葉を書いた福井藩16代藩主 松平春嶽の書に由来する。

教育目標

ひとり立ちできる子

～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～

研究主題

自ら考動し、学び合う子を目指して

～主体的・対話的な学びを通して自己決定できる力の育成～

重点目標

確かな学力の向上
進んで学び合える子

豊かな心の育成
協力し合える子

健やかな心と体の育成
心と体を鍛える子

家庭・地域との連携
ふるさとを大切にする子

わかる授業づくり

◎確かな知識や豊富な経験の獲得

- ・基礎基本の定着
- ・本物に出会う学びの場の設定
- ・実体験を伴う学習の充実

◎主体的・対話的で深い学びの実現

- ・自己決定できる場の設定
- ・思いや考えがつながるための「伝え合う力」の育成の工夫

◎課題探究に向けての学習環境づくり

- ・ICTの活用
- ・読書活動の推進

◎教科等横断的な視点での授業づくり

◎教職員の自己研鑽と協働体制

- ・10参観による教職員の学び合い

・(児)学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広めたりできている 95%以上

・(児)授業中、分かる喜びや、できる楽しさを感じられる 95%以上

・(教)全教育活動で自己決定する場を多く設定し児童が学年相応の表現力を身につけるように工夫している 95%以上

居場所づくり・絆づくり

◎ポジティブ教育の推進

- ・社会性の育成
- ・認め合い、支え合う学級・学校づくり
- ・逆境に負けないしなやかな心の育成

◎思いやりと感謝の心の醸成

- ・人権教育を含めた道徳教育の充実
- ・にこフレ（縦割り）活動の充実
- ・「思いやり清掃」の推進
- ・「ありがとう」を伝える活動の推進

◎教職員による児童理解と支援の充実

- ・いじめを見逃ごさない生徒支援
- ・規律ある生活態度の定着
- ・規範意識や自己肯定感の涵養

・(児)学校が楽しい 95%以上

・(児)みんなで何かをするのは楽しい 95%以上

・(児)いじめを見たら大人に知らせたり、とめたりすることができる 80%以上

・(保)我が子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である 95%以上

・(教)児童の良い点や頑張っている点を積極的に認め、ほめている 95%以上

心づくり・体づくり

◎望ましい生活習慣の確立

- ・食育と健康教育の推進
- ・早寝、早起き、朝ごはんの推進
- ・挨拶運動の推進
- ・情報モラルとスマートルールの定着

◎自己の健康・体力の向上

- ・運動習慣の確立と推進
- ・自己管理能力を高める保健指導

◎防災意識や危機管理能力の高揚

- ・登下校の安全確保と安全教育の充実
- ・計画的に実施する避難訓練の充実

・(児)体育の授業以外に、1日30分以上、体を動かしている 80%以上

・(児)早寝早起き朝ご飯などの規則正しい生活ができている 90%以上

・眼科受診率・歯科受診率 90%以上

・(保)我が子は、友達や地域の人にあいさつしている 85%以上

・(保)我が子は、「我が家のスマートルール」を守っている 75%以上

【業務改善のための取組】 ①終了時刻の明確化による会議時間の短縮 ②C4th導入による業務推進の工夫 ③タブレットを活用した会議・連絡(情報の共有) ④留守番電話の活用 ⑤文書ファイルの適正化による業務の効率化

保護者・地域・教職員の強み

- ・歴史と伝統のある学校である。
- ・史跡や文化・公共施設、古からの商業地を有し、様々な学習素材を活用できる。
- ・地域の人材が豊富であるとともに、地域や保護者の学校教育活動への理解度が高く、協力的である。
- ・教職員間の雰囲気温かく、お互いが気軽に話したり、相談したりできる。

保護者・地域・教職員の願い

- ・新しい時代をたくましく生き抜く力を身に付けてほしい。
- ・地域に誇りと愛着をもち、地域に貢献できる子になってほしい。
- ・自分で考え、行動できる子になってほしい。

家庭・地域や中学校区との連携

◎地域を活用した学習・活動の工夫

- ・地域の資源や人材の積極的活用
- ・生き生きと夢をもっている素敵な大人から学ぶキャリア教育活動の推進

◎家庭・地域との協働体制の構築

- ・関係団体との協働事業の推進(学校ボランティア・見守り隊)
- ・情報発信による子どもの成長の共有(学校公開・学校だより・学年だより・HP)

◎園小中連携の継続と移行支援の充実

- ・(児)ふるさと福井を大切にしたい 95%以上
- ・(児)将来の夢やめざす目標を持っている 90%以上
- ・(保)学校は地域の人材や環境を生かし、つながりを大切にしている 90%以上
- ・(保)子どものことで、気軽に学校に相談できる 90%以上
- ・(教)地域の人材や環境を積極的に活用している 90%以上